

助成受給団体名	とくていひえいりかつどうほうじんせんだいよまわりぐるーぷ 特定非営利活動法人仙台夜まわりグループ
事業の名称	生活困窮に陥った女性たちが犯罪に巻き込まれることを防ぐシェルター運営
実施期間	2017年 8月 1日 ~ 2018年 7月 31日
<p>実施した事業の内容</p> <p>2005年から、宮城県遊休施設を賃貸借し、女性専用シェルターを運営しています。専任スタッフを配置し支援活動を行って来ましたが、開設13年を経て、設置している電化製品等が、修理不可能な状態になっていました。私どものシェルターは、民間NPOによるものであり、公からの補助や助成が一切期待できず、経済的には厳しい中で運営しています。</p> <p>そこで今回、公益社団法人日工組安全研究財団様から助成を頂戴し、電化製品を購入させていただきました。冷蔵庫、炊飯ジャー、テレビ、カセットコンロを各6台、洗濯機、ガステーブル、電子レンジを各2台です。冷蔵庫、炊飯ジャー、テレビ、カセットコンロは各部屋に設置し、ガステーブル、電子レンジは、一階と二階にある共用の台所にそれぞれ設置することができました。</p> <p>緊急支援を必要としたシェルター利用者は、延べ15名。個室で生活しながら、共同での台所や洗濯機利用で年齢や生育歴が異なる方々とのコミュニケーション能力を身につけ、個人面談や伴走支援、娯楽の提供などを行い12名が自立していきました。年齢内訳は80代70代各1名、60代2名、50代4名、40代1名、30代3名、20代3名。</p>	
<p>事業の成果</p> <p>料理、洗濯、娯楽というのは、課題解決に向けて毎日頑張っている入居者にとって、生活の基本であり潤滑油です。新しい電化製品の設置で、気分一新され、さらに自立への歩みを邁進できたものと確信しています。シェルター入居時には、「こんなに設備が整った部屋で、社会生活の取り戻しができて嬉しい」、入居者からは「冷蔵庫の霜取りを頻繁にしなくても良くなった」「テレビの画面が綺麗で嬉しい」「ガステーブルが新しいので料理にも熱が入る」などの感想をいただきました。</p> <p>本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。</p> <p>実施期間中の利用者15名、年齢は20歳から85歳。12名はそれぞれ老人保健施設、民間アパート、公営住宅、家族関係を取り戻し実家へ帰るなど自立を果たしシェルター運営の効果をあげることができました。現在は、障がい手帳を取得し作業所に通う者と就労しさらなる自立へと歩んでいる者、合わせて3名が入居しています。</p>	
<p>今後の課題 DV被害、多重債務、精神疾患、依存症等様々な課題を持った女性たちが、静かな環境の中、個室で、やり直しをするための環境(住環境や設備、什器備品等含め)をさらに整え、重層した問題をひとつ一つ解決するお手伝いをして行きたいと願っています。</p>	

